

む 企 号
平成20年10月14日

国土交通省道路局長 様

北海道むかわ町長 山 口 憲



今後の道路行政にいつての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号をもってご依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり意見を提出いたしますので、よろしくお願いいたします。

北海道勇払郡むかわ町美幸2丁目88番地
むかわ町役場 総務企画課 企画グループ
主査 上 田 光 男
TEL : 0145 - 42 - 2411
FAX : 0145 - 42 - 2711
E-mail : kikaku@town.mukawa.lg.jp

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道 むかわ町

北海道においては、高規格幹線道路など主要な幹線道路のネットワーク形成をはじめ、防災対策や救急医療などの生活道路の確保などの面においても、依然として道路整備は不十分であるほか、除雪などの維持管理業務や、今後、老朽化を迎える橋梁などの維持管理費用の増大が見込まれる。

このような中、地方公共団体においては、毎年、道路特定財源のほか、多くの一般財源を投入し、道路整備や道路維持管理を行っているところであり、安全で安心できる暮らしの実現や地域の活性化を図るため、その必要額が確保され中期計画が着実に推進されるよう強く要望いたします。

○現状

- ・幹線的道路の整備は概ね終えており、生活道の整備が残されている
- ・老朽化施設の増大
- ・道路維持管理費は、人口や交通量が減少してもあまり変化するものではなく、財政緊縮のなか、確保に苦慮している
- ・過疎化並びに高齢化により道路維持への人的協力が減少している
- ・サービスの高度化が求められている
- ・多様化する住民ニーズへの対応やスピーディで地方特性を活かした行政のあり方が求められている

○課題

- ・国の補助制度基準の緩和
- ・老朽化施設改築事業の認可
- ・地方に配分されている財源は、道路の経常経費として必須であり、その財源の確保
- ・地域事情に応じ独自の規格、基準により、地方が自由に確保できる制度の確立
- ・地方（特に町村）の人材、財政は脆弱であり、その育成支援、財源確保が必要である

②-1 地域の現状と抱える課題

北海道 むかわ町

○現状

道路は道民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的なインフラであり、高規格幹線道路から道民生活に最も密着した市町村道に至るまで、北海道の道路網の整備は道民が長年にわたり熱望してきているところからも、中長期的な視野に立って体系的かつ計画的に推進されるべきものである。

しかしながら、広域分散型社会を形成し、自動車交通への依存度が高い北海道の道路整備は、全国に比べ大きく立ち遅れており、特に冬期間の厳しい気象環境などによる交通障害などを解消し、本道における「活力ある地域づくり」や「安全で快適な生活環境づくり」、さらには、「観光のくにづくり」を支援する上で、より一層重要となっている。

特に高規格幹線道路ネットワークの形成は、道内の圏域間の交流・連携の強化、地域経済の活性化、高次医療サービスの確保や災害発生時における代替性の強化などを図る上で、そうした北海道が自主・自律を目指し、我が国における安定した食糧供給基地、観光資源の提供の場などとして、その役割をしっかりと担っていくための最重要課題である。

○課題

道路整備を計画的かつ着実に進めるためには、受益者負担という道路特定財源制度の趣旨に反することなく、必要な財源を確保する。

今後の整備計画を作成するにあたっては、地域間格差への対応、安全・安心の確保、豊かな生活環境の創造等の観点から、道民の道路整備に対するニーズを幅広くくみ取るとともに、道民の期待に応えるべく、道路整備を計画的かつ着実に推進する。

高規格幹線道路ネットワークの早期形成を図るため、現在事業中の区間については効率的な整備を行うことにより一日も早く供用するとともに、抜本的見直し区間のうち「当面着工しない」とされた区間については、早期に事業化を図る必要がある。

また、利用者の利便性向上を図るため、弾力的な料金設定に努める。

今後、高齢化する道路ストックが増大することを踏まえ、道路網の安全性及び信頼性が確保されるよう、適時適切な修繕等による効率的な道路ストック管理を行う必要がある。

②-2 地域の目指すべき将来像

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い施策

①農林水産品の流通の効率化を確保する道路のネットワークの形成

むかわ町は農業を基軸に林業、水産業の第一次産業が主幹産業ですが、これらを取り巻く情勢の変革とともに、蔬菜、花き、メロン、肉牛などを取り入れた農業の複合経営の推進、資源管理型漁業推進による経営基盤の強化など、農林水産業の振興を図ってまいりました。

本町の地域資源を代表するこれらの農林水産品は、その多くが都市市場へと流通しておりますが、特に農産品は早朝収穫した鮮度を保ったまま市場に渡るなど、高速道路等を利用する輸送には効果があると考えています。

また、「鵠川ししゃも」「ほべつメロン」の地域団体商標登録の認定や豊富な森林資源を活用した木質ペレットの生産など、地域資源の活用した取り組みも広めていますが、都市市場をはじめ空港や港へのアクセス強化による輸送時間の短縮やコストの縮減など、広域故の高速道路等を利用した輸送は幅広い面で有効であると考えます。

②幹線道路における維持管理の充実及び災害に強く安全・安心な通行確保

むかわ町には、太平洋沿岸を走る国道235号と、札幌・十勝方面を結ぶ国道274号が整備されていますが、本町町民が日常的に利用する道路はその多くを地方道（道道等）に依存しており、平成18年3月27日、旧鵠川町と旧穂別町とが合併し、旧両町の住民の日常面、経済面などにおける往来機会が多くなり、基幹道路としての地方道（道道）の道路整備が求められています。

また、近年、台風の影響による大雨等が毎年のように災害をもたらし、土砂崩れ、冠水などにより道路が封鎖され、それらにより一部地域が孤立化するなどの事態も発生している状況にあることから、災害に強く、安全かつ安心な道路の確保が必要であると考えます。

2. 効率化を徹底的に進める上での重要な事項

むかわ町内では、高規格幹線道路日高自動車道（IC供用済）と北海道横断自動車道の整備が進められておりますが、全線開通までにはまだ暫く時間を要するものと考えております。

これら2道は、広域故の高速道路ネットワークの利活用等において、産業・経済・交流などの幅広い面での有効性を発揮するものと考えますことから、供用及び完成年次を明確にした事業管理、国・北海道等との連携・協働の強化とコスト縮減に配慮しつつ、事業推進の一層の努力が必要であると考えます。

3. その他、道路施策や道路整備・管理全般に関すること

道路行政においては、地域の発展のために必要となる事業の財源を安定的に確保して事業を推進することが極めて重要なことであり、道路整備や管理について地域住民のニーズを十分に配慮するとともに、それらを中期的な計画策定に反映させ、道路事業の推進を図ることが重要であると考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

北海道 むかわ町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
○ネットワークの戦略的整備・活用	・物流拠点と観光拠点・生産地等を効率的にネットワークし、むかわ町の優位なポテンシャルを活かす道路施策	・札幌都心からのインターチェンジアクセス ・空港港湾と点在する拠点とのアクセス性向上	・農漁村部の町村は交通量は少ないものの、住民の暮らしを守るための重要路線がある（一般生活道・災害時の迂回道）。このため、漁村・中山間等地域の実情にあった道路規格（車道幅員・歩道幅員）による補助基準のため、漁村・中山間等地域の整備が必要である。
○生活や産業活動を支える道路整備	・地域・都市の基盤の形成 ・災害発生時における代替性の強化に寄与するネットワーク整備 ・地域競争条件確保のための幹線道路網構築	・地域の連携・交流を支える道路や、生活に密着した道路の整備等 ・災害時の通行止めにより長大な迂回が発生する区間でのネットワーク整備 ・高規格道路整備による空港・鉄道・港高速道路などのアクセス強化	・全国一律の基準では、都市部は道路環境が良くなるが郡部は遅れてしまう。また、必要以上の道路整備となってしまう。（道路整備の促進とコストの縮減）
○防災	・地域と一体となった防災の取り組み ・道路の防災対策・危機管理の充実	・地域と協働した危機管理体制の強化による予防保全的な取り組み（ハザードマップ作成支援） ・自然災害に対する防災対策、緊急活動（救急・消防）を支援する道路整備等	・道路ストック管理
○交通安全	・高齢者が社会参加しやすい・歩きやすい安全性・安心性を高める整備	・効率的な歩道の整備など歩行者への安全対策の整備	近年の集中豪雨により道路災害が起きているが、災害事業では原型復旧のため、災害を事前に予防することが困難となる場合が多い。特に、道路改良当初より時間雨量が多くなり横断管が狭小となって災害が起きている。このため予防事業の拡大促進が重要である。
○安全・安心な冬期交通	・冬期間でも安全で安心して移動できる交通環境への改善	・冬期のバリアフリー環境の整備 ・高次医療サービスの確保に向けた道路ネットワーク整備	